

静岡理科大学●広報誌



キャンパスニュース

C A M P U S N E W S

2007

7

VOL.32



特集

新学部・学科再編

ビジネスプランコンテスト表彰！

やらまいか
エデュケーションサイト
(YES) 始動！

昨年12月に完成したYESでは、学生による様々なモノ作り活動が活発に行われています。

CHANGE NOW

「学びたい」「な 大きく一歩

理工
学部

機械工学科

- ★ロボット・ヴィークル工学コース **新設**
- ★航空工学コース **新設**
- ★総合機械工学コース



「自ら考え、創造し、楽しむ」ことにこだわりを持つ同学科。常に好奇心を持ち積極的にものづくりに取り組むダイナミックなエンジニア育成を目標として、実験実習の充実した教育を行い、ふれあいを通して一人ひとりの個性を引き出す教育に取り組んでいます。

「ロボット・ヴィークル工学コース」では、ロボットをはじめとするメカトロニクスおよび自動車に代表される輸送機器工学と機械製造技術を学びます。「航空工学コース」では、航空工学、航空機設計を中心に航空機産業を支えるエンジニアを育成します。「総合機械工学コース」はJABEE認定コースに申請予定。機械の基礎から応用までを履修した国際的に通用する技術者の育成を目指します。

電気電子工学科

- ★光応用・電子デバイスコース **新設**
- ★情報・通信コース
- ★電子制御・エネルギーコース



人間生活を支え、未来の可能性を広げる電子工学を、その初歩からわかりやすく学べるように、工夫を凝らしたカリキュラムを用意しています。

「光応用・電子デバイスコース」では、センサや光応用装置の開発、IC・LSIの設計開発が出来る技術者の育成を目指します。「情報・通信コース」では、IT技術の基盤となる高速デジタル通信技術や大容量情報記録メディアなどの情報・通信について学びます。「電子制御・エネルギーコース」では人間のエネルギー問題に対処し、便利で快適な生活をもたらすテクノロジー、制御・エネルギーについて学びます。

物質生命科学科

- ★バイオ食品化学コース **新設**
- ★環境新素材コース



環境の21世紀における生命と生活という視点に立って、従来の理料分野である物理、化学、生物を有機的に統合した「バイオ食品化学コース」と「環境新素材コース」の2コースで化学を基盤とする新しい理系教育を行います。「バイオ食品化学コース」では、生化学分野での生命・生活に関わる「食品バイオ」「環境バイオ」「グリーン化学」を学びます。「環境新素材コース」では、化学を基盤に物理分野の「生命と化学」に直結する「機能性新素材」を学びます。

りたい」自分が 、進化する。

【新設】
総合情報
学部

コンピュータシステム学科※

※コンピュータとそのソフトウェア
技術を学びます。



計算機科学をベースとして、コンピュータとそのソフトウェア技術に関する教育を行います。

コンピュータのアーキテクチャ、ハードウェア、ソフトウェアに関する幅広い知識を持ち、コンピュータシステム、データベースシステム、コンピュータネットワークの設計・管理が出来る人材を育成します。

人間情報デザイン学科※

- ★Webデザインコース
- ★心理・生命情報コース
- ★社会情報コース



学びの対象は“人間とコンピュータ”。「Webデザインコース」は、ユーザビリティデザインの考え方にに基づき、美しいだけでなく、使いやすいWebコンテンツを開発できる人材を育成します。「心理・生命情報コース」では、心理学・生命科学の基本を理解し、コンピュータを自由に使うことが出来るほか、新しい知的コンピュータの可能性を考えることの出来る人材を育成します。「社会情報コース」では、産業社会におけるコンピュータ(情報)の役割や情報の利用方法について学修し、経営・生産・物流・販売など社会におけるさまざまな情報を的確に分析し、応用できる人材の育成を目指します。

※平成20年4月設置(届出手続中)

遠州灘川群

最近、欠かさず見ている番組に「プロフェッショナル仕事の流儀」がある。毎回、ある仕事に情熱を傾ける「プロ中のプロ」をスタジオに招き、その仕事の流儀を紹介している。プロフェッショナルな人々に共通することは、彼ら、彼女らが高い能力をもっているという事もあるのだが、私が、関心をしたのは、歩くのが早い!ことである。とにかく、皆が早いのである。足を引きづって、顔をうつむき加減に歩けば、気持ちも沈むが、意地でも顔をあげて颯爽と歩いていけば、自分もまわりも元気になる。毎朝、愛野駅から大学までの坂を早足で歩いている学生をみかけると、私も元気な気分になる。みなさんも、これから、背筋をピンと伸ばして少しだけ早く歩いてみませんか?

(M)

ビジネスプラン コンテスト表彰

昨年度、静岡県西部地域及び愛知県東三河地域で「ビジネスコンテスト」が開催されました。

当時、電気電子情報工学科3年の逸見真太郎さんが、がんばる起業応援ネットワーク主催のコンテストで奨励賞、情報システム学科4年の山崎靖晃さんが、はままつビジネスコンテストで特別賞、同学科4年生の野末智彦さんが、東三河ビジネスプランコンテストで優秀賞をそれぞれ受賞しました。

逸見さんの提案したプラン「永久品質保証認定機構の設立」は、職人が作る伝統工芸品などに「永久保証」の認定をし、消費者、職人、機構の三者がメリットを得られるというシステム。

山崎さんは次世代の調理法として注目されている「真空調理品」の普及と販売開拓に関するプランを提案しました。

また、野末さんの提案した「デジタルフォトフレーム『Picrem』」は、写真立ての写真を収める場所に液晶パネルを取付け、デジカメで撮った写真を簡単に表示することができる「デジタルフォトフレーム」を開発するプラン。

司 会：「ビジネスコンテスト」に応募したきっかけを教えてください。

山崎さん：創造・発見の「ビジネスプラン」という授業の受講がきっかけです。また、私は就職活動も一段落していましたので、新社会人に向けたビジネスマナー等を学ぶいい機会だと考えました。

野末さん：私は学生生活で「これを頑張った!」と胸を張れる事をしたかったからです。

司 会：今回のプランの発案のきっかけは何ですか。

逸見さん：100円ショップでバイトをしていたので、日頃から物の使い捨てについて疑問を感じ、そのことが発案のきっかけとなりました。

山崎さん：実家が飲食店を営み、「真空調理法」というあまり聞きなれない新調理法を使って体に優

しい料理を作っています。お店の宣伝を兼ねて、私が学んできた情報処理の知識を新しい事業化に活かせないかと思ったのがきっかけです。

野末さん：現在、デジカメで写真を撮ってもプリントが面倒だという人が多く、それならデジタルデータのまま表示すれば、速い上に安く、更に簡単ということで発案しました。

司 会：プランを作成する上で大変だったことは何ですか。

逸見さん：知識がなかったため、プランの概要をなかなか決められなかったこと、そして、資金計画の立案が大変でした。

野末さん：今までは物を買う側だったので生産コストや利益などお金についてのプランを作る事に苦労しました。どんなにいいプランでも会社としてやっていくには利益を上げなければなりません。その点で考えが甘く、プランを詰めていくのが大変でした。

司 会：コンテストに参加するにあたって大変だったこと、努力したことは何ですか。

山崎さん：私の場合、就職活動等も一段落した4年ならば余裕があると思い履修しましたが、コンテスト出場となると、卒業研究・論文、その他のイベントへの準備や参加も重なり、スケジュールがとても大変でした。また、実家の事業拡大・宣伝ばかりが目立たないように、自分らしく「事業化」する付加価値も含め10分間以内（正味8分間）でプレゼン内容をまとめることが一番苦労しました。

野末さん：大人の世界でプレゼンをしなければならなかった事が一番大変でした。周りは起業セミナー受講者や社会人の方が多く、コンテストの雰囲気にも慣れているようでした。そんな中、自分がここに居てもいいのだろうかと考えたりもしましたが、学生の立場だからこそ出来る事を考え、精一杯プレゼンをしました。

司 会：今回「ビジネスプランコンテスト」に参加してよかったことは何ですか。

逸見さん：自信がついたこと、そしてものの見方が変わったことです。いつもは買う立場ですが、売る立場を経験し、違った視点から物を見ることができたのでおもしろかったです。

山崎さん：授業では、外部講師の方が自分の考えと一緒にあって真剣に考えてくれました。コンテストでは、様々な職種の方、目上の方とお会いしご縁を持つことができ、とても刺激のある体験でした。こうした人とのつながりは私にとって一生の財産となりました。

野末さん：何もない所から何かを創り出す事はすごく難しい事ですが、それを今回のコンテストでなんとなく得たような気がします。何よりも大きな充実感があります。それはいつもの生活の中で新しい事にチャレンジしてみないと分からないかもしれません。

司 会：将来の夢は何ですか。

逸見さん：やはり起業家です。まだまだ先は長いですが頑張ります。

山崎さん：現在は一人前のエンジニアを目指し、ネットワークエンジニア（NE）として企業で働いています。しかし、起業家への道も諦めてはいません。一度社会で揉まれ、いつか今の自分にはできないもっと高次元での事業化を目指したいと思います。

司 会：今回の経験を通して、学生の皆さんに伝えたいことはありますか？

逸見さん：誰でもアイデアと行動力があれば起業家になれる。そして、普段、「不便」と感じることを「便利」にすることができればそれはちゃんとしたビジネスです。誰にでも起業家になることができ、お金持ちになれるチャンスがあります。

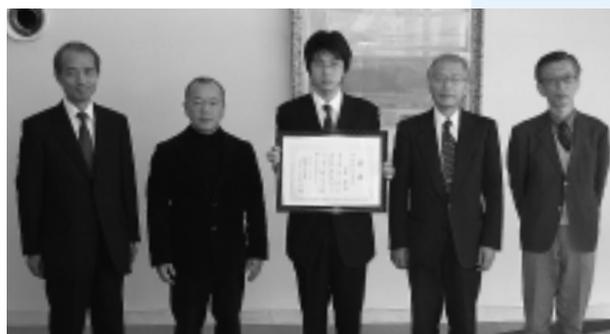
野末さん：強い意志は強固な運命を紡ぎます。学生のみなさんも頑張ってください。

司 会：本日はありがとうございました。

なお、三人には、この栄誉を称え、平成18年12月14日及び平成19年3月7日に学長より「学長特別表彰」が授与されました。



左から二人目 逸見真太郎さん、四人目 山崎靖晃さん



写真中央 野末智彦さん

**創造
発見**

「ビジネスプラン」を担当して

創造・発見「ビジネスプラン」指導担当者

機械工学科 准教授 越水 重臣



ビジネスプランを作成するという事は、まさに自己実現、自分探しの作業であると感じました。ビジネスプランコンテストに出場した学生が、この授業を通して、急激に成長していくのです。その過程には、御二人の外部講師の強力なバックアップがありました。起業家支援のプロである山田穎二先生と実際の起業家（ベンチャー経営者）である大野晴己先生です。両先生は、熱く、厳しく、そして、本当の意味の優しさを持って、学生を導いて下さいました。この紙面を借りまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

公開シンポジウム

1月27日(土)「インターネットと上手につきあおう」をテーマに平成18年度公開シンポジウムを開催しました。

当日は、NTTレゾナント株式会社 取締役の大町雄一氏と、本学物質生命科学科の志村史夫教授による基調講演の後、パネルディスカッションを行い、参加者も交えて活発な質疑が行われました。



記念植樹

卒業式前日の3月16日(金)、卒業生代表が大学近くの愛野公園へ「花水木」^{はなみずき}を記念植樹しました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として卒業生から募った募金で一期生から毎年行われており、今回で13本目の植樹になりました。



SIST企業セミナー

3月8日(木)、9日(金)の2日間、本学のアリーナでSIST企業セミナーを開催しました。景気の回復や2007年問題(団塊世代の退職)等で企業の採用意欲は目を見はるものがあり、2日間で159社の参加をいただきました。延べ約600名の学生が人事担当者との面談に臨みました。学生は熱心な態度で参加をし、多くの企業の方からお褒めの言葉をいただきました。



卒業式

3月17日(土)、平成18年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、理工学部生377名、並びに大学院生24名が卒業しました。

卒業生を代表して、情報システム学科の高木昭佳さんが「大学で得た多種多様の貴重な体験と教訓を今後の人生で上手く生かし、一人ひとり自らの夢に向かって邁進していきたい」と力強く誓いました。



入学式

4月6日（金）、平成19年度入学式を挙行し、学部生・大学院生合わせて285名が入学しました。

新入生を代表して、情報システム学科の加藤佑里恵さんが「大学の伝統を受け継ぎ、21世紀にはばたく科学技術者を目指し努力します」と宣誓しました。



チャレンジハイク

5月12日（土）毎年恒例のチャレンジハイク（クラブ連合委員会主催）を開催しました。今年は晴天に恵まれた中、大学 エコパ 愛野公園 可睡斎 大学の約25 Kmに学生64名と教職員2名がチャレンジし、全員完歩しました。



新入生合宿研修

4月11日（火）12日（水）の1泊2日、つま恋（静岡県掛川市）で新入生・編入生及び教職員合わせて339名が参加し、新入生合宿研修を行いました。1日目は学科別全体研修と助言教員との懇親を行い、2日目は企業見学等を行いました。



クリーンアップキャンペーン隊

5月23日（水）クリーンアップ作戦（クラブ連合委員会主催）を行い、学生26名が参加しました。日頃お世話になっている住民への奉仕活動として、大学から愛野公園付近までの道路のゴミ拾いを行いました。



Citizens' VOICE

[市民の声]

市民のみなさんから理工科大へのメッセージを紹介します。

静岡理工科大学に期待します



ミネベア株式会社 技術本部
オプトデバイス開発部門長
江川元二さん

ミネベア㈱はミニチュアボールベアリングのトップメーカーですが、浜松工場では、電子部品の研究開発をしています。工場は理工科大とは直線距離で3km足らずの近いところにありますが、交流が少なかったのを残念に思っていました。

しかし、昨年8月にインターンシップで学生を受け入れ、9月に塩田名誉学長様以下多数の先生方が産学交流見学会で弊社工場を見学されてからは、活発に交流させていただいています。

今年度からは、中堅社員5名が大学の講義を聴講させていただいています。専門外の基礎知識を学べる良い機会と考え導入しました。同じ講義でも、学生時代に比べ真剣に学んでもらえるものと思います。

大学には、教育や研究を通して優秀な学生を社会に送り出していただくことや、専門的な研究成果で社会に貢献していただく以外にも、このような地域社会への貢献も期待しています。

豊かな自然に囲まれたキャンパスで、自然現象を使って社会に貢献できるものを生み出す優秀なエンジニアを教育していただくよう、期待しています。

静岡理工科大学と私



袋井市教育委員会 教育部
主席参事兼生涯学習課長
小粥保夫さん

平成3年度、市の「彫刻のあるまちづくり事業」の担当として、開学された大学の県道からの入口に野外彫刻を設置したことが大学と私との係りの始まりです。地域に貢献する大学として、先生方は多士済々の顔ぶれで所管する業務の情報提供や専門委員等として様々な分野でお力をいただいております。

大学運営においては、常に時代の先端を見つめ、求められる専門教育体系を積極的に構築されるなどその旺盛なパイオニア精神には敬服しております。現在、本市が取り組んでいる「心ゆたかな人づくり」は、生涯学び続けることが基本であり、こうした体験が身近に叶えられる静岡理工科大学は、本市の知的・文化的財産であると心強く思っております。

今後とも、当地袋井から世界へ飛躍する大学として益々発展されますよう心からエールを送ります。

夢を追いかけて



げんらく
増田 憲さん・
理江さん

自然酵母パンと手作り料理の店「げんらく」を営んでおります。私達がバイク好きということも手伝って、今まで多くの学生が利用してくれました。話をする中で素直な耳を持っている学生が多く、部活などにも真剣に取り組んでいる姿が何れ将来を楽しみにしています。

「げんらく」とは楽しさの源と書きます。仕事も遊びも生活も思う存分楽しみたいと思っています。夢は見るものではなく実現するもの。私達は今から実現させる夢をいくつか持っています。私達よりずっと若い学生のみなさんにも無限の可能性があります。本気でやれば何でもおもしろいし大抵のことはできてしまう。もし失敗したら、その時に対策を考えればいいのだし、助けてくれる人も不思議に現れたりします。素直な耳と冷静な判断力、そして骨身を惜しまぬ行動力で楽しく生きていきましょう。

サークル紹介

卓球同好会

部長 雪下 哲



卓球同好会は、卓球技術の向上や袋井市卓球協会主催の公式戦出場を中心に活動しています。現在は、卓球経験者から初心者などの、幅広い人材が所属しています。もっと卓球がうまくなりたい人はもちろん、これから卓球をやっていきたくって思っている人にも、活動しやすい環境だと思います。公式戦での入賞を目標に頑張っているのも練習なども行いますが、試合に出場し練習の成果が出たときは、とても嬉しです。そして、物事に対して一生懸命取り組むことは、決して無駄にはならないと思います。

興味のある方は、卓球同好会が活動しているときに、体育館までお越しください。

授業科目の紹介



機器分析

機器分析は、3年前期（平成20年度からは2年後期）に開講されている科目です。物質生命科学科は、環境・新素材・バイオ・食品化学と広い分野の知識を習得する学科で

す。例えば、環境・新素材分野では、水質を汚染する重金属の微量分析などの分析には、ICP発光分光分析や原子吸光分光分析が用いられ、新素材の構造や物性を調べるためにX線回折装置や電子顕微鏡などを利用します。また、バイオや食品化学では、生体物質や機能性物質を分析するため、質量分析、核磁気共鳴装置、高速液体クロマトグラフィーやDNAシーケンサーなど

の機器を利用します。本学「機器センター」には、環境・新素材やバイオ・食品化学の分野の実験・研究をサポートするために充実した機器分析装置が設置されています。物質生命科学科では、学生実験で分析機器を実際に体験・実習します。「機器分析」は、体験・実習するための基礎となる原理などを詳しく紹介・説明するための科目であるとともに、社会に出てからも役に立つ知識を習得することができます。

活躍する卒業生

大学生活をしていたのがつい昨日のように感じられるのは、今でも私が、研究職に就いているからかも知れません。卒業後は、奈良先端科学技術大学院大学に進学し、修士・博士号を修得しました。その後2006年4月まで、英国ケンブリッジ大学 Earth Science 研究科にて、Research Associate として2年半勤務いたしました。私の所属していた学科には、かつて「種の起源」を著したダーウィンがおり、著名な科学者を数多く輩出し、80個ものノーベル賞を受賞しております。また、学生指導にあたっては、スーパーバイザーシステムをとっており、これは担任制みたいなもので、先生が一人ひとりの学生に細かな指導教育を行っております。今にして思えば、我が理工科大も同様のシステムを採用しており、藤田・土肥両先生には公私にわたり、ご指導を頂いたことに今更ながら感謝している次第です。現在は、サムコ株式会社基盤技術研究所にて、半導体装置の研究・開発に携わっております。今日より明日へと、仕事においても、自分自身も、より成長したいと、常に上昇志向を持ち続けることが出来るようになったのは、良き師・友・そして環境に恵まれたおかげであると、常に感謝の心を忘れることなく、日々精進したいと考えております。



サムコ株式会社 基盤技術研究所

三宅雅人さん

電子工学科 第4期卒業生

世界で最も多くのノーベル賞受賞者を出した研究所・キャベンディッシュ研究所にて



* 袴田先生 プロフィール

浜松市出身。子供の頃からラジオを聞くことが好きで、小学校6年生の時、並四コイル、半円形のエアーバリコン、鉱石検波器を使ってラジオを作り、電灯線アンテナで野球を聞いたことを覚えています。真空管や回路について勉強したかったので、大学では電気工学を学びました。本学に着任する以前はNTTの横須賀研究所で海底同軸ケーブルや光ファイバを使って信号を遠方に伝送するための研究実用化に従事していました。平成6年に本学に着任しました。現在ではハードウェアにマイコンやDSPを組み込んで、プログラムで動作させるいわゆる組み込みシステムを実現するテーマに主として取り組んでいます。

デジタル通信 / デジタル信号処理研究室

身近にある家電製品や携帯電話、パソコンの中には多くの電子回路が組み込まれており、マイコンやDSP（デジタル・シグナル・プロセッサ）などのLSIも使われています。これらのLSIは中に組み込まれたプログラムによってその動作が決定されています。

当研究室ではマイコンやDSPを電子回路に組み込んで適切に動作させるための構成法を、ハードウェアとソフトウェアの両面から研究しています。またデジタル回路を実現するためにVHDLと呼ばれる言語を使ってICを設計する方法も研究しています。ハードウェアの基礎をしっかりと身につけた上で、ソフトウェアについても知見を有している幅広い知識を備えた人材を育てたいと考えています。

研究室学生からひとこと

雪下 哲

袴田研究室ではデジタル信号 / デジタル信号処理の研究を行っています。研究室には、多種のテキストやオシロスコープなどの沢山の機器があり、これらを利用して様々な研究をしています。研究室では5つくらいのグループに分かれ、各研究を仲間同士協力し、充実した日々を過ごしています。研究を通じて、自分自身の知識を高めていくことができる研究室だと思います。

2008年度入試日程

入試種別	出願期間	試験日	可否通知日
一般推薦	平成19年 10月19日(金)~ 10月31日(水)	11月10日(土)	11月16日(金)
一般前期(A) [3教科型]	平成20年 1月7日(金)~ 1月29日(火)	2月5日(火)	2月15日(金)
一般前期(B) [2教科型]		2月6日(水) 2月7日(木) (試験日自由選択)	
前期センター試験 利用入試(A) [3教科型]	平成20年 1月7日(金)~ 2月1日(金)	本学独自の 個別試験なし	2月15日(金)
前期センター試験 利用入試(B) [2教科型]			
一般後期 [2教科型]	平成20年 2月18日(月)~ 3月6日(木)	3月13日(木)	3月21日(金)
後期センター試験 利用入試(A) [3教科型]	平成20年 2月18日(月)~ 3月10日(月)	本学独自の 個別試験なし	
後期センター試験 利用入試(B) [2教科型]			



理事長交代

平成19年1月30日、前理事長の任期満了に伴い、佐々木和男顧問が新理事長に就任しました。佐々木理事長は東京大学法学部卒業、三菱商事に入社。同社グループのサウディ石油化学社長を経て、昨年11月から本学顧問に就任。

人事異動

●平成19年3月31日付退職

機械工学科 教授 桑原宏成
情報システム学科 教授 中川 淳

お疲れ様でした。

●平成19年4月1日付採用



電気電子情報工学科 教授 郡 武治

専門分野：無線通信工学、信号処理、マルチメディア

略歴：同志社大学工学部卒、上智大学理工学研究科博士課程後期修了。日本電信電話公社研究所主任研究員、NTTパーソナル通信網株式会社マルチメディア推進室課長、富士電機アドバンステクノロジー株式会社情報通信制御部長を経て、本学教授に就任。

趣味：天体観測、化石採集

平成19年度公開講座

前期1回 『人間は進化する』

5/26
(土)

- 講演1 「第六感と人工知能」
講師 情報システム学科 教授 荻野 徹
講演2 「心を作り出す脳 一知覚・言語・意識と脳の進化」
講師 情報システム学科 教授 宮岡 徹

前期2回 『社会は進化する』

6/30
(土)

- 講演1 「Web2.0 インターネットの新しい時代とWeb3.0の展望」
講師 情報システム学科 講師 金久保正明
講演2 「産業界における顧客情報管理の実態と将来方向」
講師 情報システム学科 教授 渡辺俊幸

前期3回 『技術は進化する』

7/28
(土)

- 講演1 「組込みソフトとはなにか」
講師 情報システム学科 教授 玉真昭男
講演2 「機械システムへのコンピュータの応用」
講師 機械工学科 教授 益田 正

後期1回 『天をめざして -航空宇宙技術の開発-』

9/1
(土)

- 講演1 「ジェットエンジンのはなし」
講師 機械工学科 教授 榊田 勝
講演2 「ロケット開発の現状と将来」
講師 株式会社エイエスアイ総研 取締役 太田豊彦氏

後期2回 『あかるい未来を求めて -環境問題と光技術-』

9/29
(土)

- 講演1 「赤外光発電素子の研究 -新エネルギーの開発を目指して-」
講師 電気電子情報工学科 准教授 小澤哲夫
講演2 「グリーンエネルギーの上手な使い方 -太陽光・風力ハイブリッド発電-」
講師 電気電子情報工学科 教授 恩田 一

後期3回 『自然の恵みがもたらす力 -人間にやさしい緑茶-』

10/13
(土)

- 講演1 「緑茶の癌・老化抑制効果を追いかけて」
講師 物質生命科学科 教授 常吉俊宏
講演2 「抗アレルギー作用をもつ『べにふうき』緑茶の開発」
講師 独立行政法人農業・食品産業総合技術研究機構 野菜茶業研究所
野菜・茶機能性研究チーム 研究チーム長 山本(前田)万里氏

学年暦

<学部>

前期定期試験	7月25日(水)～8月3日(金)
夏期休業	8月6日(月)～9月19日(水)
前期追・再試験対象者発表	8月28日(火)
前期追・再試験期間	9月3日(月)～9月7日(金)
後期ガイダンス	9月20日(木)
後期授業開始	9月21日(金)
大学祭	10月27日(土)・28日(日)
冬期休業	12月22日(土)～1月6日(日)
後期試験	1月22日(火)～1月31日(木)
後期追・再試験対象者発表	2月12日(火)
後期追・再試験期間	2月19日(火)～2月25日(月)
春期休業	2月26日(火)～3月31日(月)
卒業者発表	3月7日(金)
卒業式	3月15日(土)

<大学院>

前期定期試験	7月25日(水)～8月3日(金)
夏期休業	8月6日(月)～9月19日(水)
後期履修ガイダンス	9月19日(水)・20日(木)
後期授業開始	9月21日(金)
冬期休業	12月22日(土)～1月6日(日)
後期試験	1月22日(火)～1月31日(木)
春期休業	2月23日(土)～3月31日(月)
修了者発表	3月7日(金)
修了式	3月15日(土)

同窓会
だより

ホームカミングデーの開催

本年も、本学にて第7回ホームカミングデーを開催します。
当日は、豪華商品が当たる大抽選会やイベントを企画しています。同窓会員の皆さんのご参加をお待ちしています。
日 時：平成19年10月28日(日) 11:00～12:30
<大学祭2日目>
会 場：本学食堂(体育厚生棟1階)
参加料：無料

後援会
だより

父母懇談会の開催

日 時：平成19年10月27日(土) 10:30～
<大学祭1日目>
会 場：本学300講義室(学生ホール3階)
父母懇談会では、午前に全体会と学科別懇談会、午後には個別面談(希望者のみ)を開催します。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

役職者紹介

平成19年4月1日現在

学長	荒木信幸
学部長	古知政勝(教授)
学生部長	秋山憲治(教授)
附属図書館長	宮岡 徹(教授)
機械工学科長	益田 正(教授)
電気電子情報工学科長	小川敏夫(教授)
情報システム学科長	玉真昭男(教授)
物質生命科学科長	住谷 實(教授)
機器センター長	吉田 豊(教授)
情報センター長	鈴木千里(教授)
教育開発センター長	菅沼義昇(教授)
事務局長	根津彰弘



SIST Topics

■学長特別表彰

情報システム学科3年生の山下真雅さんが、1月2日未明、静岡市で発生した建物火災の発見から通報及び初期消火を迅速に行い、被害の拡大を防ぎました。この功労に対し、2月7日（水）、静岡市石田消防署長から感謝状を受けるとともに、3月7日（水）、学長特別表彰が授与されました。



■優秀賞表彰式

1年間の学業成績が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理科大学優秀賞」の表彰式が5月22日（火）に行われました。受賞者30名に学長より表彰状と副賞が授与されました。

受賞者は次の通りです。



◆機械工学科

2年生 山本 直輝
松本 記彰
3年生 井上 達矢
鈴木 隼太
4年生 松澤 孝太
深田 徹

◆電気電子情報工学科

2年生 服部 将和
島田 拓哉
3年生 伊代田 徹
加々美友宏
4年生 中川 和知
安本 達矢

◆情報システム学科

2年生 松下 慎
瀧尾 浩志
兒島 史門
小長谷松雄
3年生 渡邊 哲也
石間 順也

杉浦 司
馬野 靖久
4年生 稲垣 了磨
磯部 達朗
安藤健太郎
その他1名

◆物質生命科学科

2年生 中村 通秀
中嶋 茜
3年生 吉田 勝美
大塩 潤
4年生 西村 宰
鈴木 優作

スポットライト がんばれ！理工科大生



大学祭実行委員長 増田加世

今年の大学祭、通称SISTIVAL'07は「今までと一味も二味も違う」と観て感じて頂けるような催し物を企画中です。例えば、全日本学生フォーミュラー大会に参加したSFPのレーシングカーの展示、デモ走行。有志の学生達が制作した電気自動車でのレース、ロボコンに参戦したMCFのロボットの展示。そして各専門分野の研究をしている教授方の研究発表など、理工科大学の所有する広大な敷地を使用した企画や、理工科大学ならではの発想で様々な企画を行ないたいと考えています。

また、本学は、東海道どまんなか位置する袋井宿にキャンパスを構えているので、歴史と伝統のある街の袋井市や袋井市と隣同士の市に重点をおき、積極的に地元の人達との交流をしています。そのことも手伝って、今年からは、地元の人たちや大学教授の方々の協力の元、去年以上の盛り上がり期待できる催し物が実現可能になりました。大学祭までは、まだ時間は沢山ありますが、新メンバーも加わり、一足先に大学祭は進化を遂げます。

SISTIVALメンバー一同、大学祭の成功を目標に一丸となって頑張っていきますので、大学祭実行委員会そして大学祭をよろしくお願い致します！

編集後記

2007年度がスタートし、初めてのキャンパスニュースです。本号の目玉は、「新学部・学科再編」です。「進化」をキャッチフレーズに、静岡理科大学が進んでいく方向を述べることはできなかったのではないのでしょうか。また、ビジネスコンテスト、大学祭実行委員長の増田さんの記事では、イキイキと活動している学生さんの姿を垣間見れた気がします。がんばる人にエールを送りたいと思う今日この頃です。(H)

静岡理科大学キャンパスニュース
平成19年7月2日発行
企画・編集・発行 / 静岡理科大学広報推進部会
〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2
TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110
<http://www.sist.ac.jp>